

ほほえみ通信

第138回 ほほえみ 開催

1月20日（水）第138回 ほほえみを開催しました。今回は3名の方が参加してくれました。

参加に際しましては、感染予防対策のため手指消毒・検温・連絡先の確認（感染予防にのみ使用します）をさせていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、2/17（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

『冬の匂い』

（がん体験記）

私のがん告知を受けたのは、11月も終わろうとしていた頃。前日に雪が降ったこともあり、その日はとっても寒い日でした。

「悪性だね。“乳がん”ということだね」と医師に告げられ、人目もはばからず泣きながら家まで歩いて帰ったのを今でもはっきりと覚えています。

その後、検査、検査で、手術は年明け。極寒の中の入院生活でした。

陽射しがたつぷりと降りそそぐ、南向きの5階の病棟。窓の外を見下ろすと、白く凍えた街並みが広がっていました。

「この街の中では、みんな普通に生活をしているんだな・・・」

いつまで生きられるかわからない私が、今、ここにおいて、街なかでは人々があくせくとしたいつもの日常を送っている――。

まさに、“別世界”でした。

あれから14年。

毎年雪が降る季節になると思い出す、告知・手術・入院・治療のこと。それは、“冬の匂い”と共に、記憶に刻まれているのかもしれない。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）